

1月5日(月)、町中央公民館に84名が集い令和8年二十歳を祝う会が開催されました。スーツや色鮮やかな振袖に身を包んだ出席者は、旧友との再会を喜んだり、思い出話や近況報告をしたりなどそれぞれの門出を祝いながら、会場は和やかな雰囲気になっていました。式典は、二十歳を迎えるまで支えてくださった保護者や、地域の方々、恩師の先生などたくさんの方々が参列し、大崎中学校ボランティア部の「和太鼓演奏」で幕を開けました。ビデオ上映では20年の様々な出来事を振り返りました。中学生時代の思い出の写真も映り、懐かしい写真に笑い声もあり会場は盛り上がりを見せていました。

町長は式辞で「自分の将来像をしっかりと描き、これからの時代の主役として、ゆるぎない信念と決意で、自分の人生を歩んでいただけることを期待しています」と門出を祝福し、衆議院議員 森山裕様、大崎町議会議員 吉原信雄様がそれぞれ祝辞を述べ、祝福とともに温かい激励の言葉を贈りました。また、二十歳の抱負を木場美玲さんは「故郷大崎町への誇りを胸に、挑戦を恐れずたくましく歩んでいきます」と宣誓し、謝辞を木尾優仁さんは「周囲への感謝の気持ちを忘れず、自分の考えを持ち、互いを尊重しながら歩んでいきたい」と力強く述べました。新たな門出を迎えた84名は、それぞれの夢や目標に向かって新たな決意を胸に大きな一歩を踏み出した一日となりました。

